

# 令和7年度 浜松市立有玉小学校 学校評価

## 1-1 評価結果・分析①

令和7年度 浜松市立有玉小学校 学校評価

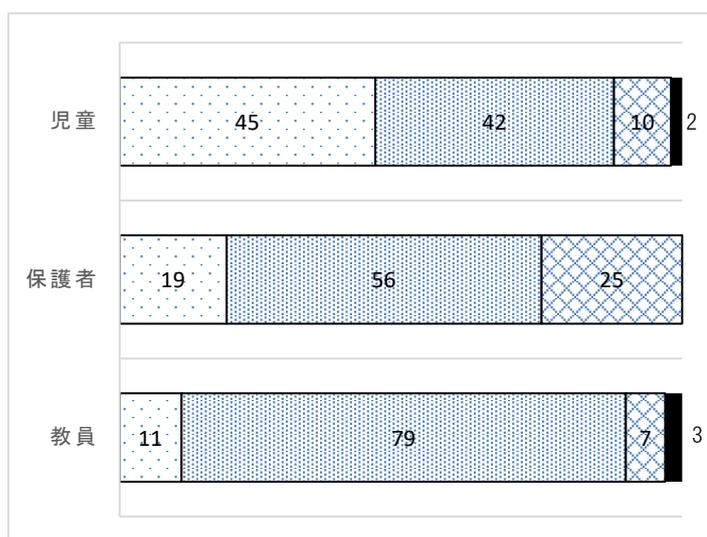
(「よりよい有玉小づくりのためのアンケート」児童・保護者・教員回答より)

□ できている ■ 大体できている ▨ あまりできていない ■ できていない

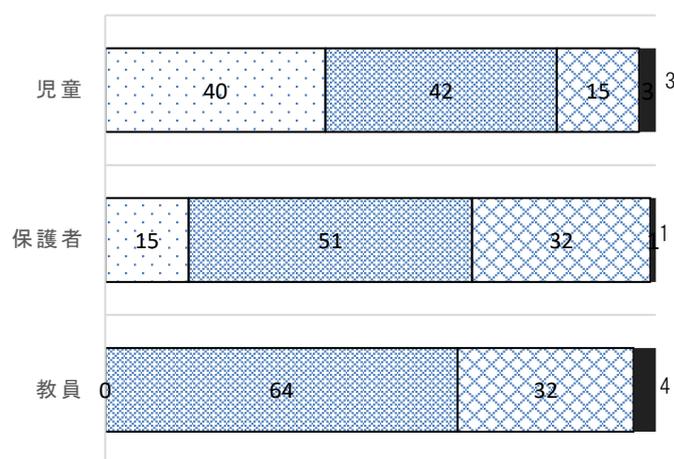
### (1) 【確かな学力】「自ら考え、学び合う子」

◎表現力や思考力を身に付けさせ、個別最適な学びや協働的な学びを通して自分の考えを広げ、伝えることができる子を育てる。【目標90%】

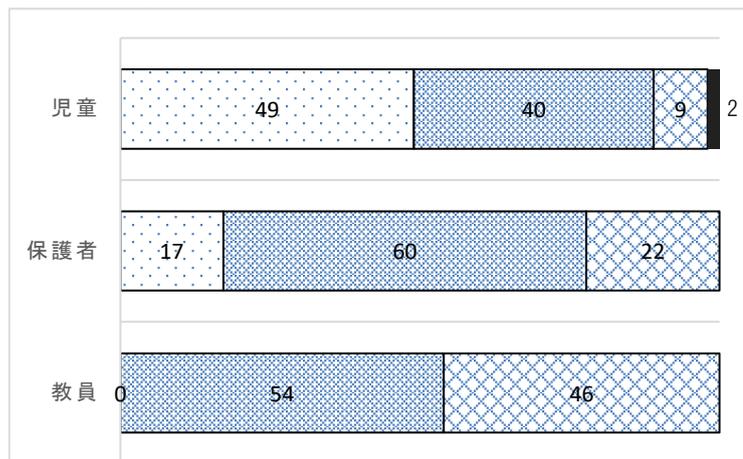
#### ① 考えを書いたり言葉で伝えたりできている



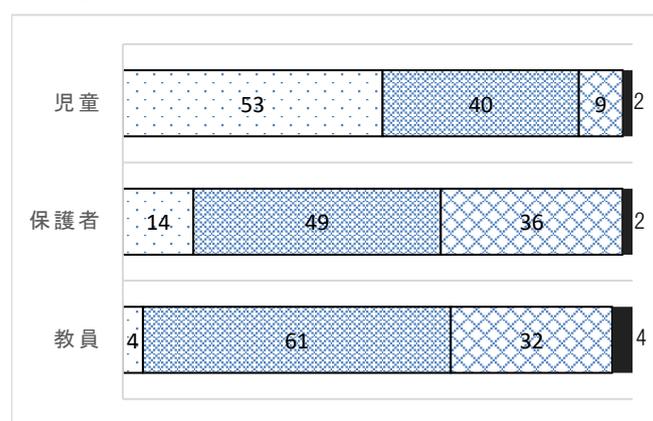
#### ② 考えを分かりやすく相手に伝えることができている。



#### ③ 自分の考えを確かなものになっている。



#### ④ 学びの方法を選び、解決に生かすことができている。



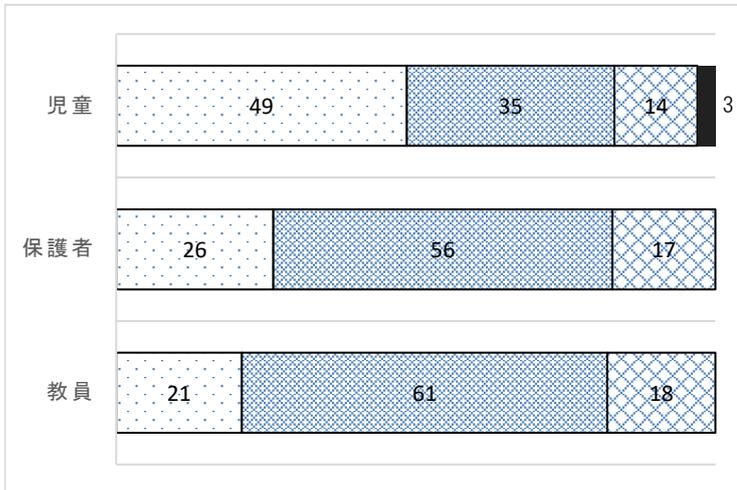
#### <評価の分析>

- 「自分の考えを書いたり、言葉で伝えたりする。」ことの評価が、児童、教員ともに高い。
- 「考え分かりやすく相手に伝えること。」の評価が児童が高い。
- ⇒●教員、保護者の「あまりできていない」の評価の割合が少し高い。
- 「自分の考えを確かなものになっている。」の児童の評価が高い。
- ⇒●教員の「あまりできていない」の評価の割合が高い。
- 「学びの方法を選び、解決に生かすことができている。」ことの児童の評価が高い。
- ⇒●教員、保護者の「あまりできていない」の評価の割合が少し高い。

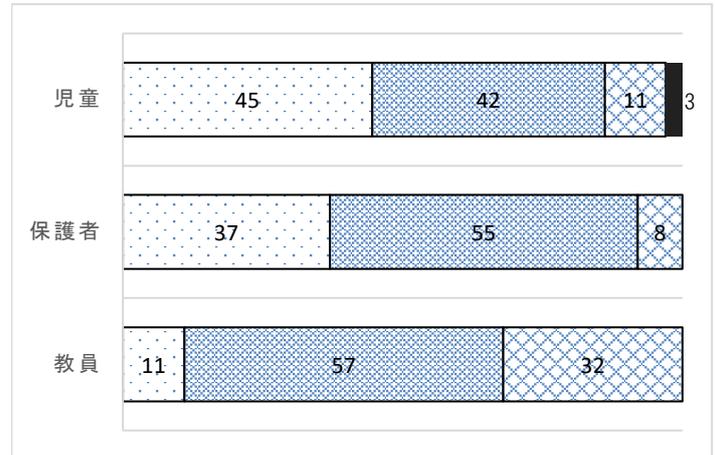
(2) 【豊かな心】「自らかかわり、認め合う子の育成」

◎振り返ったり、認め合ったりする場を増やし、自信をもって自分や友達のよいところを言える子を育てる。【目標100%】

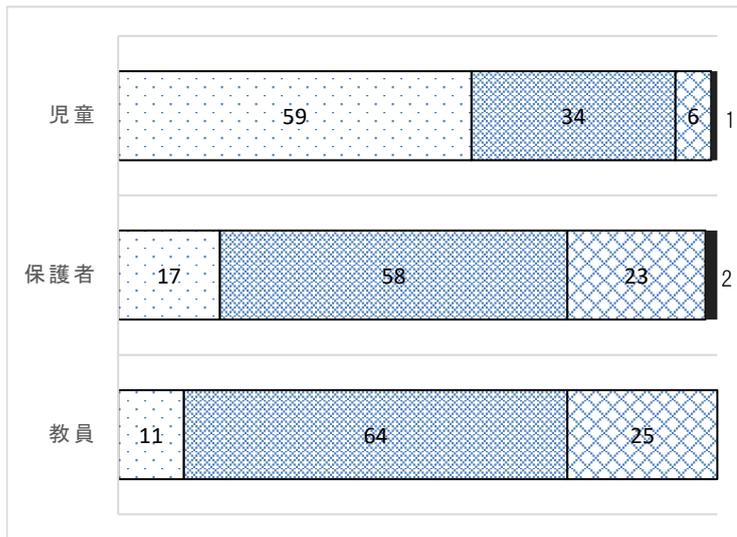
⑤ 自分や友達の良いところを見つけることができている。



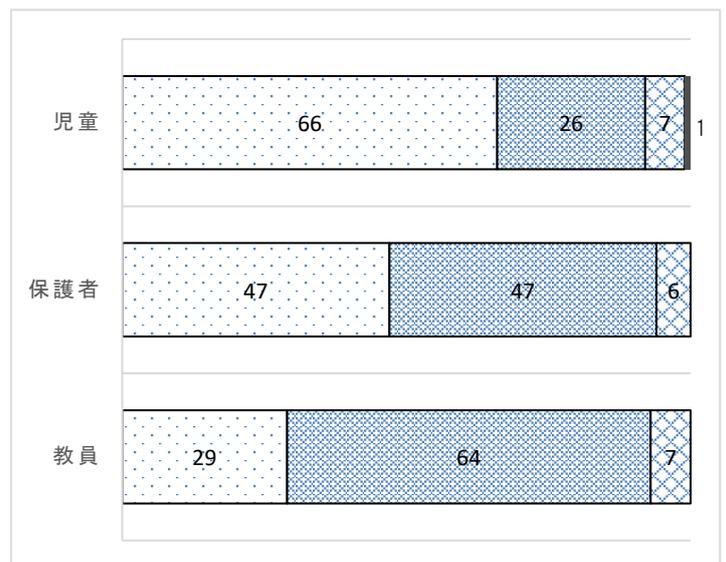
⑥ 「ふわふわ言葉」を使っている。



⑦ 自分で考えて行動することができている。



⑧ 「ありがとう」を言ったり言われたりしている。



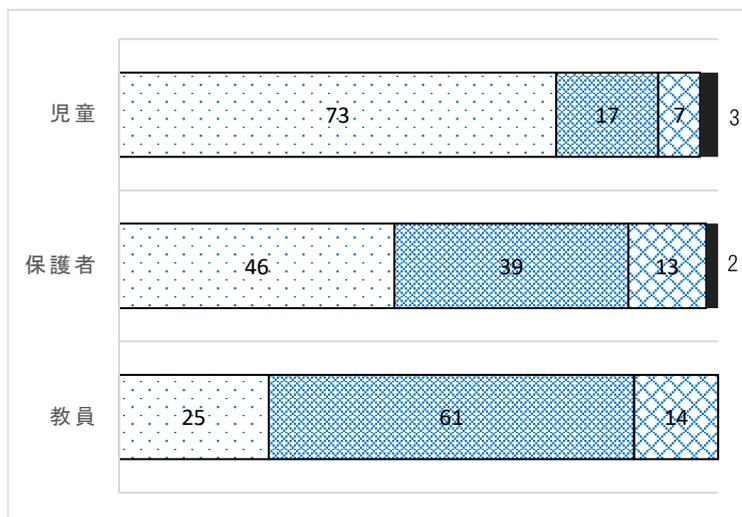
<評価の分析>

- 「「ありがとう」を言ったり言われたりしている。」の評価が、児童、保護者、教員ともにとても高い。
- 「自分の考えで行動することができている。」の評価が児童は高い。  
⇒ ● 「あまりできていない」の評価の割合が、教員、保護者が少し高い。児童の評価と差がある。
- 「「ふわふわ言葉」を使っている。」の評価が、児童、保護者が高い  
⇒ ● 「あまりできていない」の評価の割合が、教員が高い。
- 「自分や友達の良いところを見つけることができている。」の児童の「あまりできていない」の評価が他の項目よりもやや高い。→自己肯定感の低い子

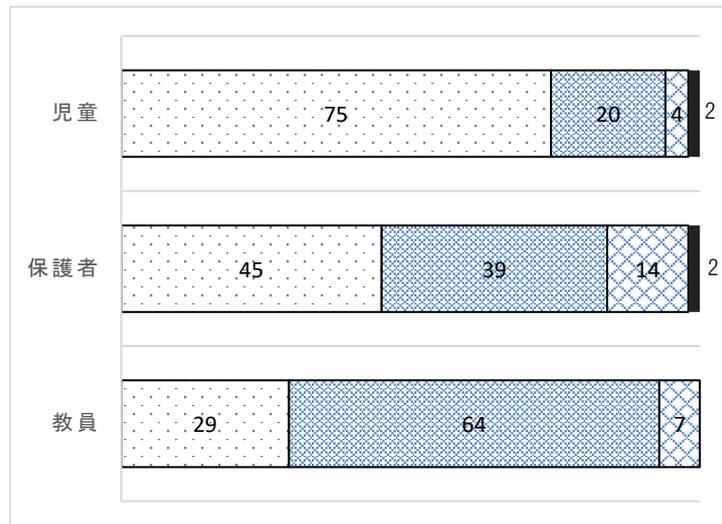
(3) 【健やかな体】「自ら鍛え、高め合う子の育成」

◎心身の健康のために、運動や保健を通して、仲間と共に高め合い、進んで運動に親しんだり、健康や安全に気を付けて生活したりしようとする態度を育てる。【目標90%】

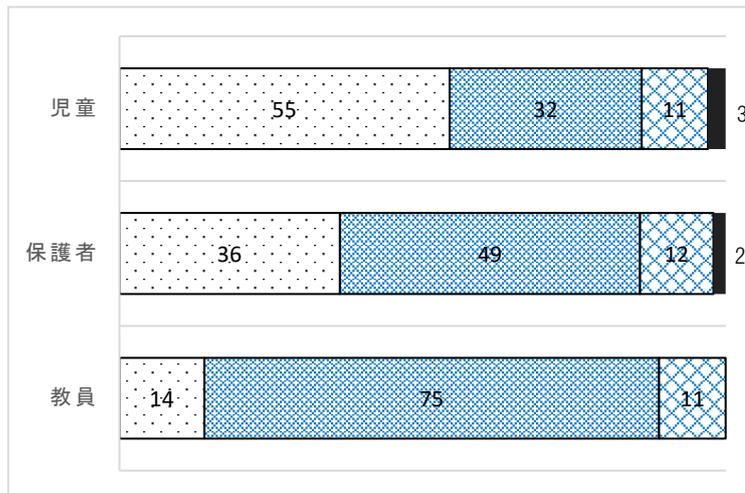
⑨ いろいろな運動の楽しさを実感している。



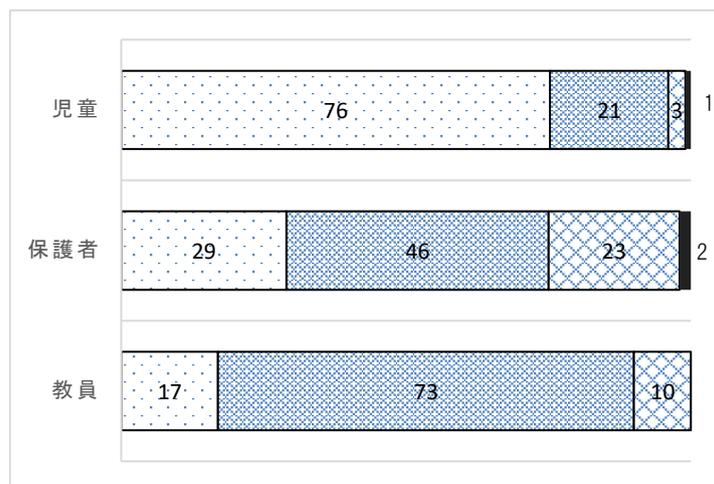
⑩ 仲間と共に運動に取り組んでいる。



⑪ 心身の健康の意識を高めている。



⑫ 安全への意識を高めている。



<評価の分析>

○「安全への意識を高めている。」の児童の評価が高い。

⇨●「あまりできていない」の評価の割合が、教員が少し高く、保護者は20%である。

○「いろいろな運動の楽しさを実感している。」「仲間と共に運動に取り組んでいる。」の児童の評価が高い。

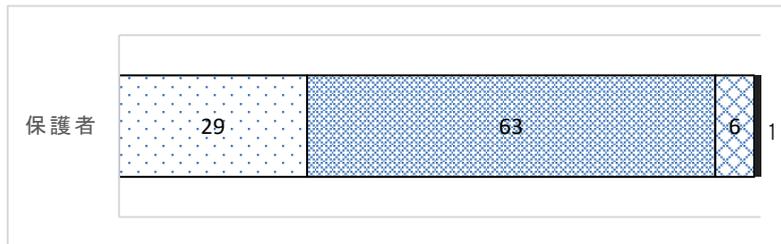
⇨●保護者や教員の評価の差が少し見られる。

●「心身の健康の意識を高めている。」の「あまりできていない」の児童の割合が、他の項目よりもやや高い。

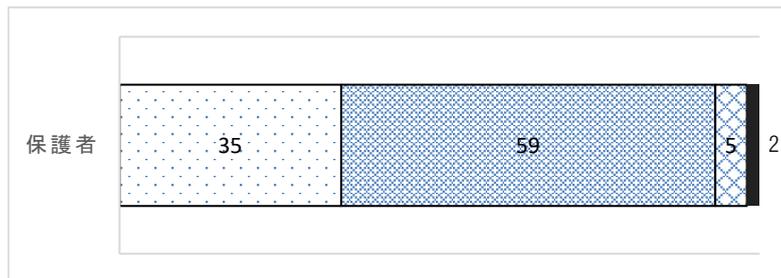
#### (4) 【自分や浜松の未来を創る人づくり】

##### こどもの学びや育ちを支える連携・協働

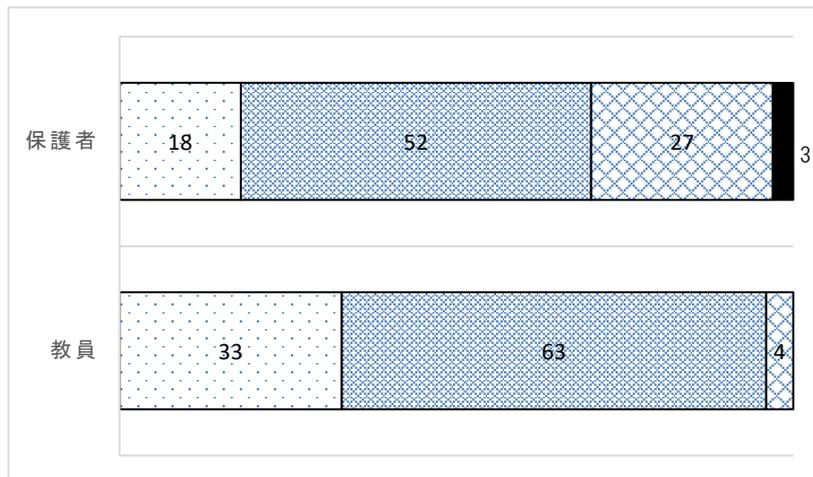
⑬学校は子供の困り感に寄り添い、適切に対応している。



⑭夢や目標に向かって努力している。



⑮家庭や地域との連携が成長につながっている。



#### <評価の分析>

- 「学校は子供の困り感に寄り添い、適切に対応している。」の「できている。」「大体できている。」の評価が高い。(92%)
- 「夢や目標に向かって努力している。」の「できている。」「大体できている。」の評価が高い。(94%)
- 「家庭や地域との連携が成長につながっている。」の「できている。」「大体できている。」の教員の評価が昨年度より向上した。(R6 90%⇒R7 96%)
- ⇐●「できている。」「大体できている。」の保護者の評価が昨年度より低下した。(R6 76%⇒R7 70%) →教育の評価は高まったが、保護者の評価が低下した。

## 1-2 評価結果・分析②

令和7年度 浜松市立有玉小学校 学校評価：1・2学期の比較

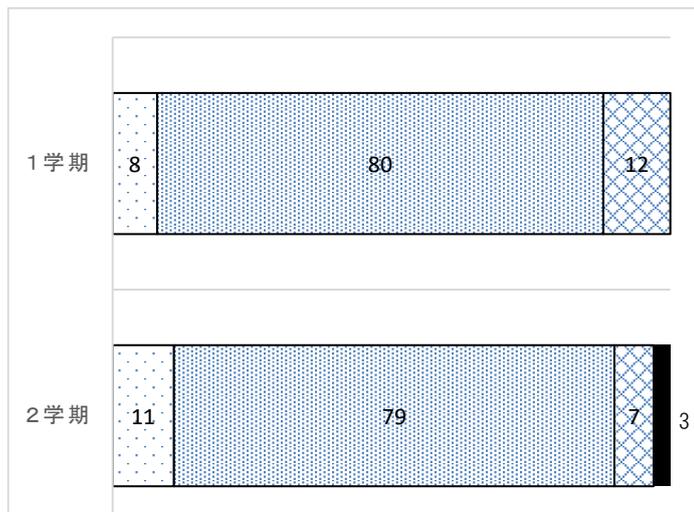
(「よりよい有玉小づくりのためのアンケート」教員回答より)

□ できている   ■ 大体できている   ▨ あまりできていない   ■ できていない

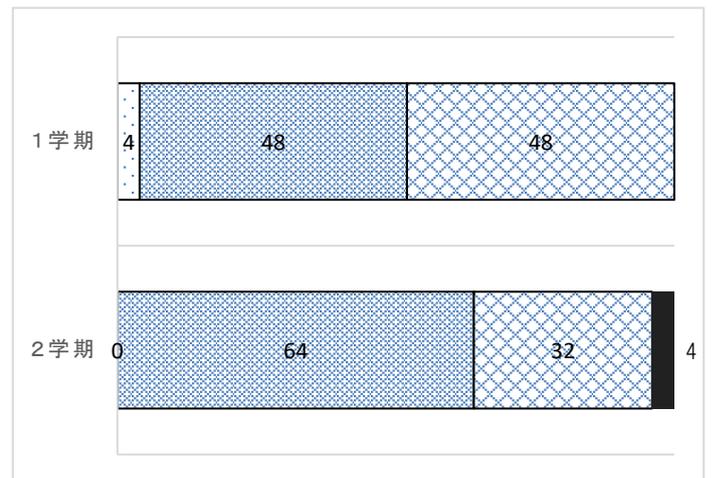
### (1) 【確かな学力】「自ら考え、学び合う子」

◎表現力や思考力を身に付けさせ、個別最適な学びや協働的な学びを通して自分の考えを広げ、伝えることができる子を育てる。【目標90%】

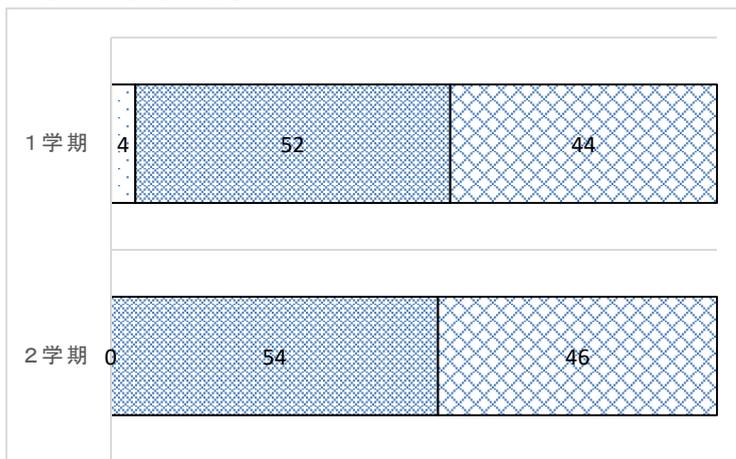
① 児童は、自分の考えをノートやプリントに書いたり、言葉で言ったりすることができている。



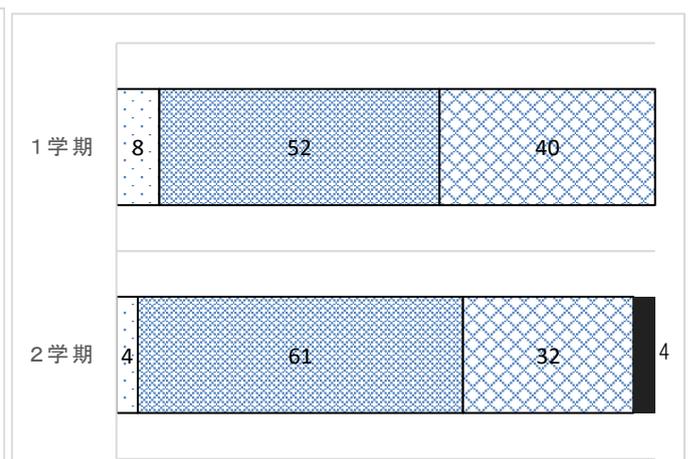
② 児童は、自分の考えに、理由を加えたり、分かりやすい言い方を意識したりして、相手に伝えることができている。



③ 児童は、友達の意見を聞いて、比べたり、納得したり、反対したりすることで、自分の考えを確かなものになっている。



④ 児童は、問題（課題）に取り組むときには、学びの方法を自分で選び、解決に生かすことができている。



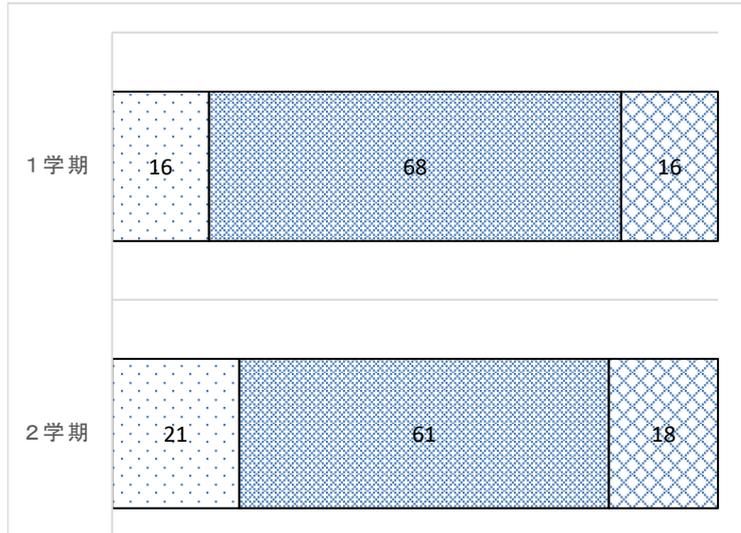
#### <評価の分析>

- 「児童は、自分の考えに、理由を加えたり、分かりやすい言い方を意識したりして、相手に伝えることができている。」の評価が、16%向上した。
- 「児童は、問題（課題）に取り組むときには、学びの方法を自分で選び、解決に生かすことができている。」の評価が、5%向上した。
- 「児童は、自分の考えをノートやプリントに書いたり、言葉で言ったりすることができている。」の評価が、2%向上した。
- 「児童は、友達の意見を聞いて、比べたり、納得したり、反対したりすることで、自分の考えを確かなものになっている。」の評価が、2%低下した。

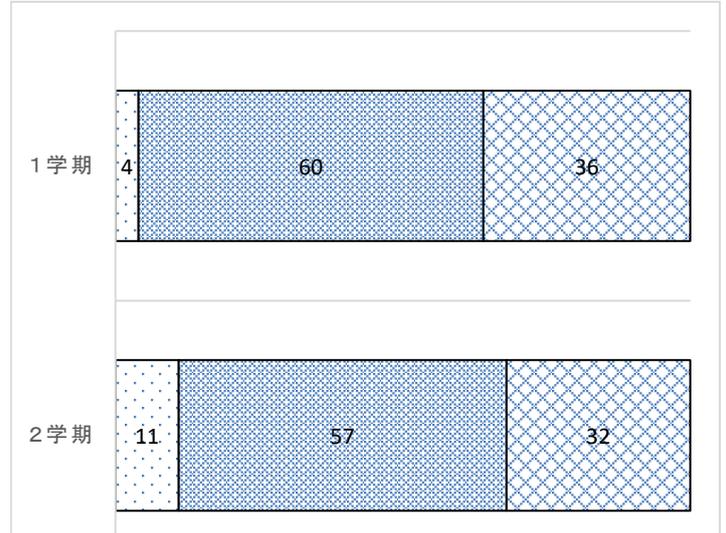
(2) 【豊かな心】「自らかかわり、認め合う子の育成」

◎振り返ったり、認め合ったりする場を増やし、自信をもって自分や友達のよいところを言える子を育てる。【目標100%】

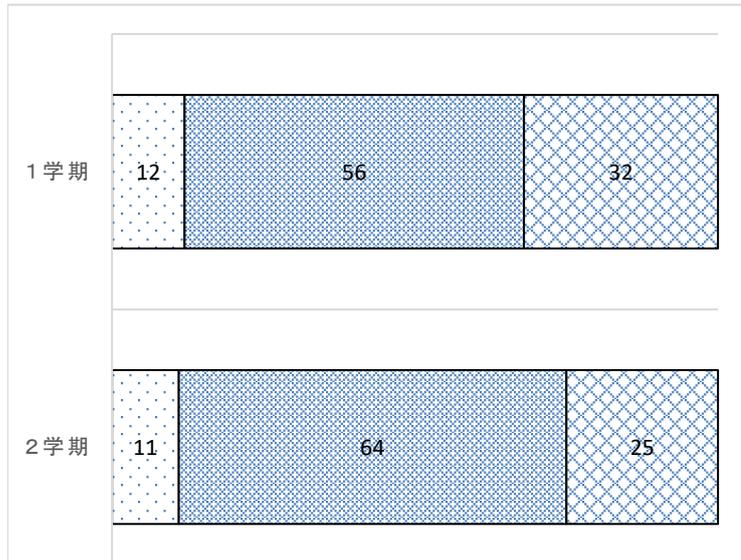
⑤ 児童は、ありがとうの日や振り返りの会では、自分や友達の良いところを見つけることができている。



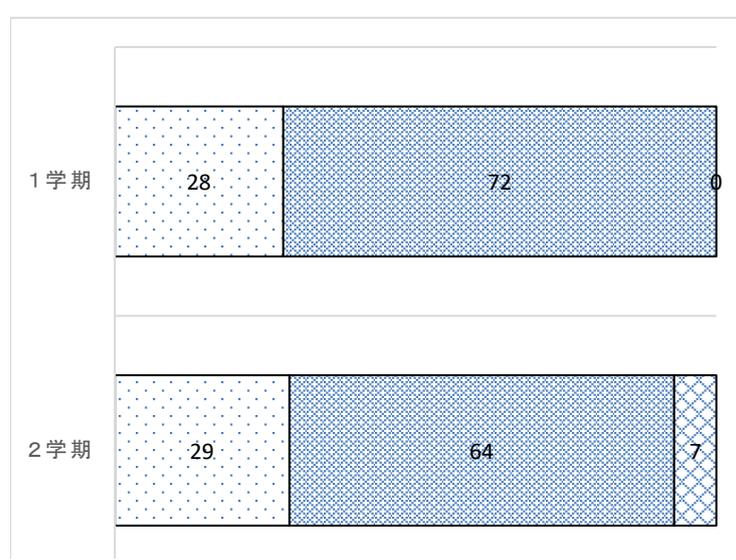
⑥ 児童は、友達に「さん」づけをしたり、言われてうれしい「ふわふわ言葉」を使ったりしている。



⑦ 児童は、係活動、委員会活動を通して自分で考えて行動することができている。



⑧ 児童は、ありがとうを言ったり、言われたりすることができている。



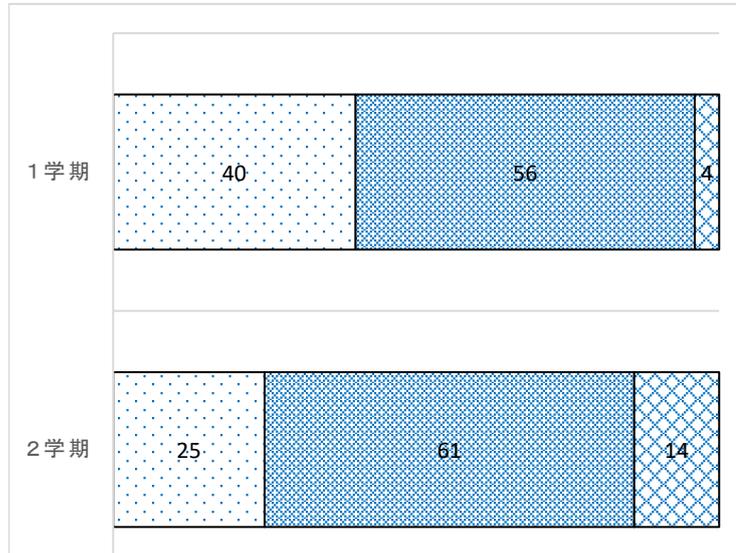
<評価の分析>

- 「児童は、係活動、委員会活動を通して自分で考えて行動することができている。」の評価が、7%向上した。
- 「児童は、友達に「さん」づけをしたり、言われてうれしい「ふわふわ言葉」を使ったりしている。」の評価が、4%向上した。
- 「児童は、ありがとうを言ったり、言われたりすることができている。」の評価が、7%低下した。
- 「児童は、ありがとうの日や振り返りの会では、自分や友達の良いところを見つけることができている。」の評価が、2%低下した。

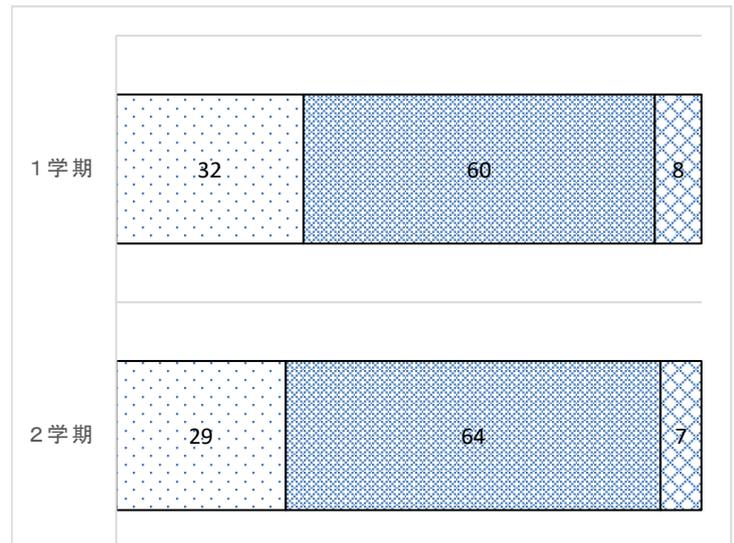
(3) 【健やかな体】「自ら鍛え、高め合う子の育成」

◎心身の健康のために、運動や保健を通して、仲間と共に高め合い、進んで運動に親しんだり、健康や安全に気を付けて生活したりしようとする態度を育てる。【目標90%】

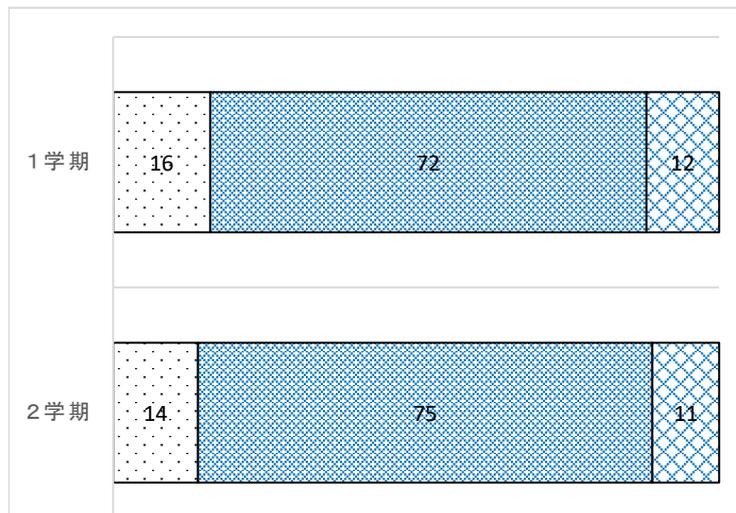
⑨ 児童は、運動に親しみ、楽しんでいる。



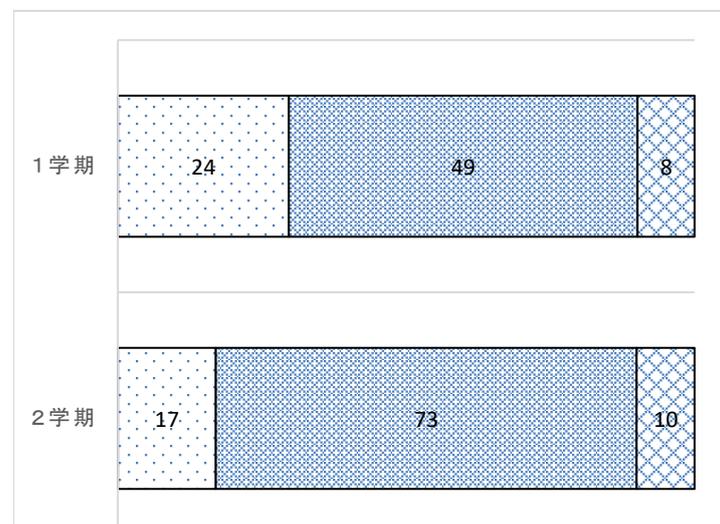
⑩ 児童は、友達と協力して運動に取り組んだり、友達と仲良く外遊びをしたりすることができる。



⑪ 児童は、進んで体を動かしたり、心の健康を気かけたりと、心身の健康を意識して生活することができる。



⑫ 児童は、交通教室や避難訓練などを通して、命を守るための安全な行動の仕方を理解し、実行することができる。



<評価の分析>

- 「児童は、友達と協力して運動に取り組んだり、友達と仲良く外遊びをしたりすることができる。」の評価が、1%向上した。
- 「児童は、進んで体を動かしたり、心の健康を気かけたりと、心身の健康を意識して生活することができる。」の評価が、1%向上した。
- 「児童は、運動に親しみ、楽しんでいる。」の評価が、10%低下した。
- 「児童は、交通教室や避難訓練などを通して、命を守るための安全な行動の仕方を理解し、実行することができる。」の評価が、2%低下した。

## 2 改善方法

### <【確かな学力】「自ら考え、学び合う子」の育成>

- ・自分の考えを「わかりやすく伝える」から「わかりやすく伝え合う」にし、学び合いを通して、自らの考えを深められるようにする。
- ・令和8年度も個別最適な学びをより進め、学びの方法を選び、解決に生かすことができるようにする。そして、学んだことや自分の考えを確かなものにできるようにする。



◎表現力や思考力を身につけさせ、個別最適な学びや協働的な学びを通して自分の考えを広げ、伝えることができる子を育てる。

- 自分の考えを持つ
  - ・主体的に取り組むための、教材の出会い方の工夫
  - ・多様な手立ての工夫（具体物操作、絵や図、ヒントカードなど）
- 自分の考えを分かりやすく伝え合う
  - ・立場を明確にし、理由を付した説明力の育成
  - ・自分の考えを伝えるための資料の作成能力の育成  
（ノート、写真、動画、プレゼンテーション等）
  - ・考えを伝え合いたい場の工夫
- 自分の考えを深め、広げる  
〈教材との対話、自分との対話、人（教師・友達）との対話を通して〉
  - ・考える視点の明確化（発問の工夫、視点の提示）
  - ・考えを再構築させる場面の設定（共有、比較、納得、反対、融合）
- 学んだことを選んで使う
  - ・「学び方を学ぶ」経験を積み重ね、既習事項を活用する場面の設定
  - ・主体的に取り組む、自力解決や、自己調整できる場の設定
  - ・自分で課題や内容を決めて取り組む、家庭学習の充実

### <【豊かな心】「自らかかわり、認め合う子」の育成>

- ・来年度も「ふわふわ言葉※」の指導について継続的に指導し、児童も教員も日常生活における丁寧な言葉遣いを意識する。 ※人を傷つけない言葉、励ましの言葉、温かい言葉など
- ・学校をよりよくする活動に児童が主体となって取り組むことができるように、委員会活動、係活動などを充実させていく。
- ・自分や友達の良いところを見つけることができる活動を継続していく。



◎振り返ったり、認め合ったりする場をふやし、自信をもって自分や友達のよいところを言える子を育てる。

- 自分のよさに気づく
  - ・「ありがとうカード」の実施（子供と子供、家庭と子供が認め合う）
  - ・自分や友達のよさを見つける活動（ありがとうの日、心の日）
  - ・自分を見つめ、自分のよさに気付く場の設定  
（ありがとうの日、心の日、学級活動、道徳科等）
- 相手のよさを認め、助け合う
  - ・毎日の振り返りの会における「ありがとうタイム」の実施
  - ・「ふわふわ言葉」キャンペーン等の実施
  - ・「ふれ合いデー」の実施（家庭でのふれ合い、教師と子供・子供同士のふれ合い）
  - ・異学年交流（なかよし清掃、なかよし遊び等）を充実させる

□よりよくしようと考え行動する

- ・ボランティア清掃と振り返りの場を設定（ありがとうの日）
- ・月のめあて（朝の会・振り返りの会、委員会活動）の意識化

＜【健やかな体】「自ら鍛え、高め合う子」の育成＞

- ・令和8年度も、実践的な避難訓練や交通教室等の活動を通して、児童も教員も防災や安全に対する意識を高める。
- ・仲間と共に運動に取り組む活動を設定し、運動の楽しさを感じられるようにする。
- ・自分の心の状態の把握、対処方法や良好な対人関係を築くための方法を知り、日々の生活に生かすことができるようにする。



◎心身の健康のために、運動や保健を通して、仲間と共に高め合い、進んで運動に親しんだり、健康や安全に気を付けて生活したりしようとする態度を育てる。

□運動することを楽しむ

- ・学級の状況に応じて、ルールや場を工夫する
- ・個に応じためあてを持ち、楽しく、進んで運動に取り組む

□仲間と共に活動に取り組む

- ・仲間と共に1つの目標に向かって運動する機会を設ける
- ・ペアやグループでの教え合いの活動を意図的に設定し、互いの能力を高め合う

□心身の健康を育む

- ・自分の心の状態の把握、対処方法や良好な対人関係を築くための方法（心の日、レジリエンスを高める）などを知り、日々の生活に生かせるようにする
- ・養護教諭や栄養教諭、外部機関と連携して、心身の発達や健康管理についての理解を深める（SCや医療と連携）

□危険を避けて安全に行動する

- ・危険を予測して、校内、校外で安全に生活する能力を高める
- ・より実践的な避難訓練や交通教室等を通して、防災や安全に対する意識を高める